



ナビゲーション

ねん がつごう
(2020年3月号)

じりつ みち あん ない
自立への道案内



りゅうしょうがいじゅうざんかい はなし さいとうまさこ なんこうりゅうへい
わたし 流 障害受容座談会でお話していただいた斎藤雅子さんと南光 龍平さんです

もくじ

- わたし 流 障害受容 最終回記念座談会～障害受容とピアカウンセリング…………… 2
- わたし 流 障害受容インタビューの軌跡～それぞれの障害受容…………… 10
- シリーズ いろんなテーマの「なぜ」を解消！～片岡次雄さんに聞く…………… 14
- おすすめのお店紹介します！（飲食店編 Café Lychee）…………… 20
- 駒九橋が通りやすくなりました！～黙っていても変わらない…………… 21
- 南光 龍平さんを偲んで…………… 22
- 編集後記…………… 24

わたし流障害受容

最終回記念座談会

～障害受容とピア・カウンセリング～

ナビゲーションでは2016年11月号から連載を開始しました「わたし流障害受容」のコーナーを、2020年3月号をもちまして連載終了したいと思います。このコーナーでは毎回、重度の身体障害者にスポットを当てて、自身の障害を受け入れ、自立するまでの過程において、どのような心の動きがあったのか、それは、何らかの影響によるものだったのかなど、自身の経験を自由に語っていただきました。その中から、みなさんそれぞれの障害受容のかたちを、探り出すことができればと考え連載を続けられました。最終回は、高槻市の自立支援センターたかつきで活動されている斎藤雅子さんと障害者活動センター・赤おにに通っている南光龍平さんに「障害受容とピア・カウンセリング」というテーマで座談会をしていただきました。最近では、お二人がリーダーとなり、障害者活動センター赤おに、青おにのメンバー対象にピア・カウンセリング講座をされていました。

さいとうまさこ

斎藤雅子さんプロフィール

ねん う

1955年生まれ

0歳～8歳まで祖母に育てられる（就学免除）

19歳の時に障害者解放運動と出会い、26歳で親元から離れて一人暮らし・結婚。出産、離婚を経験。

ピアカウンセリングとの出会いは1996年に自立生活センター運動が盛んになり始め、ピアカウンセラーも必要だと聴いて、ピアカウンセリング講座を何回か受講。

64年間の私の人生は、素晴らしいものであり障害者である自分に誇りと自信が漲っています。

なんこうりゅうへい

南光龍平さんプロフィール

ねん う

1951年生まれ

大阪府立堺養護学校小学部に1年の就学猶予で入学。中学、高校も堺養護学校（途中、身体障害者福祉センター入所）、桃山学院大学卒業後、セルフ社に入社。1987年結婚。

1990年ピアカウンセリングと出会う。東京や広島にピアカンの勉強へ行くようになった。その後、ちゅうぶと出会う。

1998年 ナビの設立に伴い、ピアカウンセラーとして働く

現在は障害者活動センター赤おに 週2回通所中

こうてんせい のうせい さいとう
～後天性の脳性マヒ（斎藤）

しょうしんしょうめい のうせい なんこう
と正真正銘の脳性マヒ（南光）～

やました しょうがいじゅよう しゅざい
山下：ナビゲーションで障害受容をテーマに取材

つづ こんかい さいしゅうかい おも
を続けてきて、今回で最終回にしようと思

っています。最終回を記念して、長年、ピ

アカウンセリングにかかわってこられた

さいとう なんこう しょうがいじゅよう
斎藤さんと南光さんに障害受容とピア・カ

ウンセリングについて座談会をしていた

おも
だきたいと思っています。

さいとう い かせき ふたり
斎藤：生きてる化石の二人です。

やました つるは ねが
山下、鶴羽：よろしく願いいたします

やました しょうがい わ とき
山下：さっそくなんです、障害と分かった時の

おや はんのう
親の反応はどうでしたか？

さいとう おさな おや はんのう
斎藤：幼かったので、親の反応はわからなかった

けど、ショックはなかったみたいです。

いろいろ しせつ まわ
色々、施設を回ったみたいです。おばあち

はなし しせつ くんれん たいへん
ゃんの話では、施設の訓練が大変やから、

わたし そだ はなし き
私が育てることにしたという話は聞いた

ことがあります。それで、吹田市で育つこ

とになりました。

なんこう りかい かぞく ぼく ぼあい さい
南光：理解のある、ご家族ですね。僕の場合、3歳

とき おおさか で だいがくびょういん しんさつ
の時に大阪に出てきて、大学病院で診察を

う のうせい
受けて、脳性マヒってということがわかった

んやけど、斎藤さんが障害とわかったのは

いつごろですか？

さいとう はんとし おうだん で こういしょう のうせい
斎藤：半年で黄疸が出てその後遺症で脳性まひに

こうてんせい せんてんせい
なりました。後天性か先天性かどっちかと

こま こうてんせい ほう
いうと細かくいうと後天性の方になると

おも う とき しょうがい
思います。産まれた時になんらかの障害を

う くび すわ
受けるというか、首が座らなくなるとか、

な せんてんせい
泣かなかつたりとかは先天性になるけど、

わたし ぼあい ぜんぜん けん
私の場合、そんなことは全然なくて、健

じょうじ さんば と あ
常児ということで、産婆さんに取り上げら

れることになったんです。

やました なんこう せんてんせい
山下：南光さんは先天性ですよ。

なんこう しょうしんしょうめい せんてんせい のうせい
南光：正真正銘の先天性の脳性マヒや。

さいとう わたし せんていせい おな
斎藤：まあ、私も先天性と同じようなもんやけど

ね。

なんこう う しょうがい う こうてんせい せいかく
南光：産まれて障害を受けたら後天性やから正確

のうせい い
には脳性マヒとは言わないというような

はなし き
話を聞いたことがあるけど。

さいとう わたし なまえ つ
斎藤：私は、なんかややこしい名前が付いてたな。

なんこう ぼく したいしょうがいしやてちょう か
南光：僕の身体障害者手帳に書かれていたのは、

し しけいせい か おも しょうい
四肢形成マヒと書かれてたと思うわ。傷痕

ぐんじん しょうがい あ なんきゅう か
軍人の障害に当てはめて何級とか書いて

いま てちょう か かた ちが
あって、今の手帳とは書き方が違うかった

よ。

やました さいとう こうてんせい ほか のうせい
山下：斎藤さんは後天性ということで、他の脳性

くら で き で き
マヒと比べて出来ること出来ないことは

ありましたか？

さいとう きんちょう みぎて
斎藤：緊張がすごくあったっていうこと。右手の

て き き すこ うご くび ぜんぜん
手先が少しは動きます。それと、首が全然

いた のうせい かなら くび いた
痛くないんですよ。脳性マヒは必ず首が痛

くなるんですよ。

なんこう いた
南光：痛いよ。

さいとう わたし ぼあい ぜんぜんいた
斎藤：でしょ。でも私の場合は全然痛くないんで

かた いた あ ちが
す。肩は痛いけど上がる。そういう違いな

んかな。

なんこう げん ごしょうがい さいきん
南光：あとは言語障害があるかどうか。最近、い

いた
ろんなところが痛くなったりするんやけ

さいとう に じ しょうがい で はじ かん
ど、斎藤さんが二次障害が出始めたと感じ

たのはいつごろですか？

さいとう ねんまえ こ かんせつだっきゅう とき
斎藤：12前かなあ。股関節脱臼して、その時に、

りょうひざ けん き みぎあし きんちょう
両膝の腱を切られてしまって、右足の緊張

かんわ りょうあし ひざこぞう なんこつ
が緩和されたので、両足の膝小僧の軟骨が

うご いた しゅじゅつ よ
動いて痛いんですよ。手術しなければ良か

おも おかし くるま の
ったと思っています。昔は、車いすの乗り

お で き しゅじゅつ で き
降りが出来てたけど、手術してから出来な

なくなって介護者に手伝ってもらうことになりました。あまりにも生活環境が変わってしまったのでしんどかったね。車いすに乗れなくなったとか身支度が自分でできなくなったりとか、介護用のベッドにしたりとか。寝返りも出来てたのに。それが手術したんとたんに出来なくなってしまっ。ひざの下に枕を当てないで寝れなくなってしまっ、手術の後遺症やなと思います。



自立支援センターたかつきのメンバー

～最初はバカにしていた（斎藤） リーダーをして自信になった（南光）～

鶴羽：ピアカウンセリング講座に参加したりリーダーをしてこられて、変わったことありますか？

南光：今まで僕の言語障害を聞き取ってくれなかった経験がたくさんあって、ピアカウンセリング（以下：ピアカン）では最後まで聞いてもらえることが大きくて、楽になったんです。今でもそうやねんけど、相手がちゃんと聞いてくれる人やったら、余計な緊張とかも入りにくくなるから、聞き取りやすくなって好循環。そういう意味では、ピアカンが大きかったんやけど斎藤さんは、どんな風に変わった？

斎藤：私は、ピアカンに出会ったのは40歳の時な

んです。ピアカンという言葉や中身自体をバカにしていた。傷の舐めあいとか受講料高いやん。でも、バカにするだけやったらアカンなと。自分で講座を受けなアカンなと思って長期講座を受けたんです。その時のリーダーにすごく共感を受けて、みんな仲間やなと思って、自分が障害者であって良かったということをつくづく思った。今までは卑屈になってて、障害者とセッションする中で泣いて、すごくすっきりしました。前向きに生きていこうと。自分の人生は自分が主人公だと。障害者であることに自信と誇りを持てました。障害者の仲間と出会えたこと、そういう繋がりが強くなりました。ピアカンの中で、聴覚障害者とか盲ろう者とか受講してくれて、手のひらに言葉を書いてコミュニケーション取ったりとか。自分自身も自信がついたんですよ。

南光：わかるわ。やっぱりピアカン講座のリーダーをやるっていうことは、仲間をまとめていくということが、自分に出来るんやなとすごく自信に繋がる。それまでは、どうしても障害があったら、何にも出来へんねやという考えの中で育ってきたから。

斎藤：1回のピアカンで20人近く参加してくれて、リーダーとサブリーダーと連携してやって、それが自信に繋がりました。

南光：一人ひとりの気持ちがどんなにか受け止めてやっていくことで、相手の気持ちをちゃんと受け止めるという経験をして、力にもなるしね。僕にとっても大きかった。言葉では表現できないね。気持ちが軽くなった。

斎藤：ピアカンでセッションする中で自分自身の気持ちを掘り下げていって、自分の本当の

気持ちが見えてきて、それで離婚に踏み切ったんです。それが48歳の時。



座談会の様子

～相手の障害を理解する大切さ（南光） 仲間を作ることが一番（斎藤）～

山下：この座談会のテーマの1つが障害受容ですが、障害受容とピアカンは何か繋がるところがあると思いますか？

南光：相手の障害を受容するというか理解することも大切やと思うわ。相手の障害を受容する受け入れていくっていうこともピアカンをやっていく中で、出来たことかなあ。いまかんがえてもあいて今考えたらそう思うわ。どうしても相手の障害を理解しにくいからなあ。自分と違う障害やったらなかなか理解できないこともあるやんか。それは、どこまで理解出来るか分からんけども、そういう心構えっていうか。受け入れていくという考え方できている、それが、障害受容とピアカウンセリングの答えてっていうか僕にとってのね。自分だけでなく、他の人の障害を受け入れていく。それが大きいんちゃうかな。

山下：斎藤さんは、どう思いますか？

斎藤：肯定だけをする。相手のすべてを受け入れる。そういうことを心がけています。ピアカンには色んな手法があるけど、手法だけ

ではダメで気持ちがないとダメやと思う。障害者と関わっていくんだ。仲間を作っていくんだ。ということが一番だと思います。いくら手法を知っていてもそういう気持ちがないと出来ないと思っています。

南光：僕は、自分が元気になるために、ピアカンをやっているという一番初めの思いがあるねん。初めてのピアカン講座で元気になったから、その後何回も何回もやっていて心の中でクリアになった。それが僕にとってのピアカンやねんな。もちろんその後で、仕事としてピアカンをやっているんやけども、基本的には自分自身が元気になるためにやってきています。それが出来て初めて相手にも伝えていけると思うから。手法とかはもちろんあるけどね。とにかくみんなで元気になろや。そういう感じかな。

斎藤：ポジティブに。プラス思考が大事ということやね。



イオンでしあわせの黄色いレシート
キャンペーン活動

～言語障害を聞き取ってくれた（南光） 青い芝の会との出会い（斎藤）～

やました 山下：ありがとうございます。次の質問をしたい
とおも しょうがいしゃうんどう
と思います。障害者運動とピアカンについ
てどうかん かん じているか

なんこう 南光：ぼく しゃ ころ だい はじ
僕がセルフ社をやっていた頃、30代の初め
ごろ であ
頃、まだちゅうぶとは出会ってなくて、
ぜんこくくるま し みん しゅうかい
全国車いす市民集会のコミュニケーション
というぶんかかい さん か
分科会に参加して、トーキングエ
イドのかいはつだんかい いろ そうだん う
の開発段階から色んな相談を受けた
りしてたんです。ぶんかかい お なん か
分科会が終わって、何ヶ
げつ た し みん しゅうかい ほうこくしょ で き あ
月か経って市民集会の報告書が出来上が
ってきて、それを見た時、もどろ とき がくぜん
愕然としてしま
った。

つる は 鶴羽：それは、どうしてですか？

なんこう こと ば ぶんかかい
南光：言葉とコミュニケーションの分科会のとこ
ろが たった ぎょう き と ふのう き さい
1行で聞き取り不能で記載で
きませんと書かれていたんですよ。

さいとう いま かんが
斎藤：うそー。今じゃそんなん 考 えられないわー。

なんこう げんじつ
南光：現実にそんなことがあったの。

さいとう
斎藤：それはわかってるけど。

なんこう
南光：すごいでしょ。

さいとう い み
斎藤：ある意味すごいわ。

なんこう おれ き おも
南光：ちょっとぐらい俺に聞けやと思った。

さいとう ぎょう
斎藤：1行ってそんなひどいやん。

なんこう いか ふる で あ
南光：怒りで震えた。だから、ピアカンに出会っ
とき げん ごしょうがい き
た時に言語障害があってもちゃんと聞き
と と ぼく
取ってくれるということは僕にとっては
おお しょうがいしゃうんどう
大きなことやった。そこから障害者運動も
ちてきしょうがいしゃ せいしんしょうがいしゃ
知的障害者とか精神障害者とかそういう
ひとたち いっしょ
人達とも一緒にやっていこうということ
で、今みたいな形になってきたと思う。や
つぱり、むかし しょうがいしゃうんどう
昔の障害者運動っていうのは、
それぞれのしょうがい おも
障害でやってきたと思うし、そ
れをお互いについてなかなか理解してな
かかったとおも てん ぼくじしん ふく
かったと思う。そういう点では僕自身も含
めたが しょうがい り かい
めてやけど、お互いの障 害を理解していく

というピアカウンセリングの果たした
やくわり おも
役割が大きかったと思うわ。

さいとう わたし あお しば で あ しょうげきてき
斎藤：私は、青い芝との出会いは衝撃的でした。

わたし さい とき ざいたく す
私は 19歳の時まで在宅で、ずっと過ごし
てて、りょうしん そと ほうもんしゃ きら
両親は外からの訪問者を嫌ってたん
やけど、ある日、ひ おおさかふじゅうしやきょうかい
大阪不自由者協会のボラ
ンティアのじょせい まね い たが
女性を招き入れたんです。お互
いに1つか2つぐらいしかとし か
歳が変わらなか
ったので、はなし こうかんにつ き
いろんな話したり交換日記をし
たりしてなか よ
仲良くしてくれていました。その
ボランティアの人たちが在宅障害者の掘
り起こし運動をしていて、お うんどう じゅうど しょうがいしゃ
重度の障害者が
そと で きべつ
外に出てられないのは差別だということ
を はな さいしょ
話していたけども、最初、なんのことも
ピンときませんでした。

やました いえ い なに きべつ
山下：ずっと、家に居たら何が差別かということ
も き づ
も気付きにくいですよ。

さいとう で あ
斎藤：そうですね。ボランティアさんとの出会い
き き さそ てがみ とど
を機にいろんなお誘いの手紙が届いて、レ
クリエーションとか ばく き かく
1泊の企画とか
がくしゅうかい あんない とど わたし
学習会の案内とか届いてて、私としては
いま せいかつ くず
今の生活がいつぱいやから、崩されたくな
いといういっしん ことわ つづ
一心で断り続けてたんだけど

やました ひと こうい
山下：そうですね。ボランティアの人は好意で
してくれてるんやと思うんですけど、そと
つな で き し ひと
の繋がりも出来なかったのに、知らない人
いろいろ い なに ゆう き
に色々言われて何かするのは勇気がいり
ますよね。

さいとう し あい み
斎藤：でも、どうしてもバレーボールの試合を観
い おも ひと つごう
に行きたいと思って、いろんな人に都合
を き だれ あ ちよくせつ
聞いたけども誰とも合わなくて、直接ボ
ランティアのじむしょ でんわ
事務所に電話をしたら「いい
ですよ。」と ころよ ひ う し あい
快く引き受けてくれて試合を
み い はじ たにん がい
観に行きました。それが、初めて他人と外
しゅつけいけん い こう せっきよくてき
出経験になりました。それ以降、積極的に

がくしゅうかい　さんか
学習会にも参加するようになったんです。
つるは　あお　しば　で　あ　しょうげきてき　い
鶴羽: 青い芝の会との出会いが衝撃的やったと言

っておられましたが、例えば、どんなこと
で衝撃を受けましたか？

さいとう　えい　が　じょうえいかい　み　い　とき　わたし
斎藤: ある映画の上映会を観に行った時に、私よ

り軽度や重度の障害者がいてビックリ
しました。寝たきりの障害者の人とか、

当時は、ほとんど車いすがなかったので、
ふとん　ね　い　ひと
布団に寝て居たりとか、その人たちがなん

の躊躇もなく健常者に食事介護やトイレ
かいご　かいご
介護、タバコ介護をしてもらっていて、そ

れを見てカルチャーショックでした。すご
いなど。19歳やけども、父と母と妹は私

を子ども扱いまではしていないだろうけ
ども、そういうことが多々あったんですね。

やました　おや　こ　あつか
山下: 親っていつまでも、子ども扱いしてしま

いますよね。僕も経験あります。

さいとう　しゅうかい　さんか　さいとう　さいとう
斎藤、集会に参加すると「斎藤さん、斎藤さん」

と呼んでくれて私を一人前の大人として
あつか　しんせん
扱ってくれたんです。それが、すごく新鮮

でした。毎日毎日、同じ障害者のところへ
ほうもん　い　いつしょ　がいしゆつ　かつどう
訪問に行って一緒に外出する活動をして

いました。それが、障害者運動との出会い
しょうがいしゃうんどう　で　あ
でした。私と年齢が近い障害者や健常者

ばかりでした。障害者の友達がたくさん
しょうがいしゃ　ともだち
できて、ピアカウンセリングに出会って、

自分が好きになって自己肯定できるよう
じぶん　す　じ　こうてい
になり、セッションするごとに自分のこと

が好きになっていきました。それがすごく
しょうげきてき
衝撃的でした。

なんこう　いま　き　あお　しばうんどう　どろ
南光: 今聞いてて、青い芝運動っていうのは、泥

臭い運動やんか、一方でピアカンは、アメ
くさ　うんどう　いっぽう
リカから発祥してきて、先輩障害者が広

めていった、泥臭いのとアメリカから来た
どろくさ　き
考え方がケンカもせず上手いこと融合

できてるっていうことは、不思議な思いが

あって、基本的には障害者を受け入れてい
きほんてき　しょうがいしゃ　う　い
くという考え方が共通してるから、上手

いこと、繋がってやってこれたのかなと思
う。

さいとう　あお　しば　かい　おな　おも
斎藤: ピアカンと青い芝の会って同じように思う

んです。障害者は障害者のグループを作
しょうがいしゃ　しょうがいしゃ　つく
って、健常者は健常者のグループを作っ

て感情を出し合うっていうのが講座の
けんじょうしゃ　けんじょうしゃ　つく
基本的な考えだから。

なんこう　しょうがいしゃ　じしん　おも　まえ　だ
南光: 障害者自身の思いを前に出していくという

ことは、斎藤さんの言うように青い芝もピ
さいとう　い　あお　しば
アカンも同じやなあ。



こうしょう　ぎょうせい　かい　ご　せい　ど　ようぼう
交渉で行政に介護制度について要望！

じぶん　ため　かつどう　さいとう
～自分の為に活動している（斎藤）

げんき　なんこう
元気になってほしい（南光）～

つるは　ふたり　けいけん
鶴羽: お二人はピアカンのリーダーもされた経験

があると思いますが、リーダーをやってい
おも
て気をつけていることはありますか？

なんこう　りきりょう　と　いまおも
南光: リーダーの力量が問われる。今思ってるこ

とを言ってくれたらいいよと。いろんな形
い　かたち
で心の悩みを出したらいいよ。とそれがリ

ーダーの役割。言葉だけではなくて、行動
やくわり　ことば　こうどう
で表すとか力を感じてもらおうとか、いろ

んなやり方があるから。

さいとう　わたし　じかん　じぶん　じかん　しゃべ
斎藤: 私は、この時間は、自分の時間だから喋ら

なくてもいいし、仲間同士で何かを感じてほしいなと思います。無理に喋らなくてもいいし、自然と喋れるような感じに持っていけるような。

南光：そうやねえ、黙っていてもいろんなことを考えるやろ。それを、どんな形でもええから、出してもらう。それが出来たら、ピアカンの第一歩になってくると思う。

斎藤：この時間はあなたの時間だから、みんな認めてあげましょう。と。

南光：黙るっていう決めたことも自分で決めたことやから大事なことやと思う。

斎藤：それに、仲間同士ってすごい大切やと思う。

ピアカン講座は、泊まりでやることもあるけど、講座の間に部屋に集まって食べたり飲んだり話して友好を深めていくっていうのが、もう1つの障害者同士の仲間意識を深めていくのが目的ちゃうかな。講座そのものも大事やけど、障害者同士のざっくばらんな話がとっても大事やと思う。

鶴羽：お二人は、ピアカンをどんな風に捉えていますか？

斎藤：自立生活センターでピアカン講座やっているけども、全国を飛び回っているのは10何年前の話。活動としてか仕事としてか、すごい難しい話。私は仕事と思いたくない。それに付随して講師料もらえるねんけど、講師料もらえなくてももらえてもどちらでもいい。活動を忘れて仕事としてやっていくのは、ちょっとおかしいと思う。仲間のことを考えてアドバイスしたりとか、いろんなところいったりすることも必要なんじゃないかなと思うので、一緒に活動したいなと。だから、運動と仕事っていうのは難しい。割り切り方も難しいけ

どね。よくみんなで仕事で集会行ってくるわと言ってるけど、それって仕事か？と思う。自分のためやから集会に行ってるんじゃないかと。交渉とかもそうやな。

南光：もともとピアカンって自分のためにやっている。自分の元気の源と捉えてて、仕事としてやっているのは、ここに仕事があったからやっている感じなんです。今、仕事じゃなくて自分が元気になるということをはかしょうがいしやつたを他の障害者に伝えていって、他の障害者ももっともっと元気になってほしいなという思いでやっています。

斎藤：講座が終わった後の達成感がすごく気持ちいい。

南光：ピアカンをやることで、元気になるんやなということがわかった。



あつ おも うった なんこう
熱い思いで訴える南光さん

～自分を好きになること（斎藤）
自分を受け入れる気持ちが大切（南光）～
山下：最後に質問させてください。いろんな障害者がいる中で、まだまだ障害受容できていない人がたくさんいると思うんです。それとか、ピアカンのことを知らない人もいると思うんですが、そういう方達に何か伝えたいことを教えてください。
斎藤：自分を好きになるということが、いかに難

しいということか。自分を好きになってほしい。自分はこういう体でええやんか。こういう障害でええやんか。言語障害でもええやんか。ということを書いてほしい。居直ってほしい。制度も整ってきて、バリアフリーになってきて自立しようと思ったらできるようになってきたけど、私たちの時代は違うかったもん。介護者を確保するのに一生懸命だった。そういうことが、あったからしんどかった。昔とちやうかなあ。今はね。自分からどこかに行こうと思っただけでいいやんか。その反対に、でもどこへ行きたいのかわからない障害者もいてるし。私は、この歳になってもいろんな所へ行きたいと思っているのに、思い浮かばないという人が多くて、どうしたものかなと。やっぱり経験なんかなくないか。壁にぶち当たらないとわからないことが多い。ヘルパーさんに気をつけて、頼むことができない障害者の人がたくさんいるから、どうしたらいいのか歯がゆい。

南光：僕自身が本当に障害受容できてるかという自信を持ってきてるとは、よう言わんな。やっぱりどっかで引っかかる部分もあると思う。それはそれでいいと思う。そういう気持ちを 100 % なくさなくてもいいんじゃないかと。そんなことに努力をはらっていくよりも、今のままの自分を受け入れるそういう気持ちも含めて、自分の気持ちなんだよとわかっていくことが大事だと思う。

山下：ありがとうございました。それでは、この座談会の締めくくりとして、斎藤さんに座談会の感想など、まとめていただきたい

と思います。

斎藤：座談会をさせてもらって、やっぱり深いなと障害者の仲間意識や活動と仕事の違いとか、ピアカン在今后どうしていったらいいのかも課題やし、私は何十年も長くないしね。どうしたらいいのか南光さんと一緒に考えていきたいと思います。

やました 山下、鶴羽：ありがとうございました。

座談会に協力していただいた南光龍平さんが2月11日（火）に亡くなりました。最後に斎藤さん、南光さんに取材をさせていただいたのが1月21日（火）でした。取材の時も元気にお話しされていました。

～斎藤雅子さんより～

南光さんへのメッセージ

この、座談会が終わって間もなく、南光さんは逝ってしまわれました。悔いても悔やみきれない悲しさです。南光さんの分も楽しんで生きていきます。もう少し天国で待っていてください。

「わたし流障害受容」インタビューの軌跡

それぞれの障害受容

「わたし流障害受容」最終回に伴い、今までインタビューさせていただいた方の特に印象的な言葉を抜粋してお届けします！

発行日 名前 年齢（取材当時） 障害名 所属の順で掲載
2016年11月号 高田 裕子（46） 脳性マヒ 障害者活動センター青おに
～相手にもわかってもらうことが大事～



- ・自立してから障害の受容という意味での変化はありましたか？
- ・電動車いすで、一人で外出するようになって自信ができました。それは、けっこう大きいかな。今でも言語障害があるから初対面の人と喋る時は、かなり緊張しますよ。でも、一人で外出するようになって、相手にこれだけは絶対に分かってほしいと伝えたら、けっこう理解してくれることが分かってから、まあ、どこへ行ってもやっていけるわ、って開き直れました。

2017年3月号 渡海 奈槻（41） 脳性マヒ 障害者活動センター赤おに
～障害者であることの自覚～



- ・渡海さんが最初に自分のことを障害者だと自覚したのはいつどんな時ですか？
- ・はっきりと自覚したのは高校を卒業する頃。就職活動してた時かなあ。やっぱり障害が重いんやなって感じさせられた時ですね。でも障害を受け入れるとか受け入れられないとかそういう感覚ではなかった。確かに「なんで働かれへんのか」とは思ってたけど、それは仕方がないと思ってた。障害を受け入れることでは、変な話、苦勞はなかった。苦勞はしてない。でも、どこかでは受け入れないといけない場合がある。今までできてたことができなくなった時とか、僕の場合は就職はできへんという時やっぱり重度やなって。受け入れないといけない現実の壁は見えてくる。壁にぶつかる方が大きいかも。

2017年7月号 久保 寛子（56） 脳性マヒ 障害者活動センター 赤おに
～自分の生活を作ってほしい～



- ・自分の障害を意識したり、みんなと同じことが出来なくて悔しい思いをしたことはありますか？
- ・実家に居る時はお風呂に一人で入ってた。「手伝って。」とも言えなくて。悔しかったし、しんどかった。高校の時は、普通高校の定時制に通ってたから、みんな周りが健常者やったから、やっぱりどっか遊びに行こうという時に「久保さんは障害があるから無理やろ。」と言われて誘われな

ったとか、その時は私も、しょうがないなと諦めるしかなかったし、こういうもんやと思ってたけど。
今、考えたら悔しい。だから、まだまだ障害受容が出来ていない人に伝えたいのは、障害者にしかできないことがあると思う。いろんな人に助けてもらって、少しずつでいいから自分の生活を作っていってほしいと思います。

2017年11月号 南光 龍平 (66歳) 脳性マヒ 障害者活動センター・赤おに
～障害を個性として捉える～

・生活介護や色々な所で活動している中で、他の障害者に障害受容のことなど伝えていきたいことを教えてください。

・障害受容については、何をもって障害受容というのか僕自身もできてるかどうかわかりません。一般的には障害をマイナスに捉えるのではなく、個性として捉える。出来ないことをヘルパーにしてもらってそれを自分がしたことと認める。今やったら当たり前出来ること。特に僕はちゅうぶ(NPO法人ちゅうぶ)と関わってるからそう思うのかもわからんけどね。ごく当たり前で生活しているしね。障害はあっても別にどうってことないやんか。っていう感じで生きてきて66年。



2018年3月号 玉木 建一 (42歳) 脳性マヒ 障害者活動センター・赤おに
～仲間と出会えて受容ができた～

・たくさんの障害者と出会ったり一人暮らしをするようになって、障害受容に対してどんな変化があったと思いますか？

・ちゅうぶの障害者と出会ったことが初めの障害受容やったんちゃうかな。山本敏晶さんの「色々出来るんやで。」というほんまに簡単な一言「キャンプにおいで。」とも言ってくれて、山本さんも僕にちゅうぶを見てもらいたかったんやと思います。住吉区のケースワーカーの人にも「玉木さんみたいな障害で一人暮らししてる人いっぱいいるよ。」と言葉の後押しもあったかなと思います。自分で考えて行動するのが一人暮らしとか子育てで思うことで、それが本当にできるっていうのは嬉しいです。



2018年7月号 森園 宙 (29歳) 脳性マヒ 障害者活動センター 青おに
～この体と付き合い続ける～

・ちゅうぶで活動してきた中で障害に対して変わってきたことある？

・ちゅうぶに来て変わったなと思うことがあって、何年か前にピアスクール(障害者自身が学ぶ連続講座。障害について考えたり、障害者運動の歴史を振り返り、交通アクセス、教育や就労等を考える講座)があって、志望動機を青おにを書いて「個人的なことは家で書いたらどう？なんで、今書いてんの？」と山下さんに指摘されて、そこからピシッ!となったというか、良い刺激になりました。最初の頃は友達みたいな感覚やったけど、そこ



から、良い意味でキリッ！とさせてくれる先輩というか。なんというか。それと「僕らを頼ってくれたらいいよ。」とも言われて、それはよく覚えています。そこから気持ちが徐々に変わってきました。この体しか知らないから、健常者の気持ちが分からないし、この体と付き合ってる限り考えて続けていくもんちゃうかな。

2018年11月号 酒井 建志 (28歳) 脳性マヒ
えぬびーおーほうじんしょうがいしゅじりつせいかつ
NPO法人 障害者自立生活センター・スクラム
～ピアカン講座を受けて変わった～



- ・ピアカンという言葉は知ってたんですけど、通った大学が社会福祉学科で、友達の中にヘルパーのバイトをしている人がいて、ピアカンのことは聞いていましたが僕が毛嫌いしてたんです。何回も申し込んだけど、行かんとこかなとか思っていました。一人で外泊も初めてだったので、言語障害もあったし、ちゃんとコミュニケーションできるのかなと思ってました。ピアカン講座を受けて「お風呂も入らなくていい。」と言ってたんですけど、スクラムのスタッフが「入ろうや。」と言ってくれて入って「あ、入れるんや。」と思いました。講座を受けて色んな発見もあったし受講して本当に良かったと思います。

2019年3月号 北岡 賢治 (51歳) 脳血管障害
えぬびーおーほうじん じりつせいかつ
NPO法人 自立生活センター・おおさかひがし
～「障害者のアマチュア」と言われて～



- ・おおさかひがしで働き始めた頃は、筒井さんに「障害者のアマチュアやな。」と言われてほんまにそうやなと。アマチュアと言われたのは障害者と思ってなかったやろと。事実そうやったんです。筒井さんに見抜かれてたんでしょね。でも、今は、障害者やと思っています。周りにも、存在意義を認めない人もいるじゃないですか。でも昔は昔。未来のことは心配しても仕方ない。今、置かれていること考えたら障害者やん。健常者も障害者もあんまり変わらないと思うんですけどね。今あることを考えよう。と。僕は、障害受容で悩むことはなかったです。

2019年7月号 田中 次郎 (58歳) 脳性小児マヒ NPO法人アド企画
えぬびーおーほうじん きかく
～施設ではなく地域で生きたい～



- ・田中さんにとっての障害受容とは、なんだと思いますか？
- ・これから僕らの障害って治ることがないじゃないですか。重くなっていく一方やから、重くなったら重くなったで、慣れていくしかないかなあ。その中で、面白い生活が出来たらいいかなと思います。この一人暮らしをやっていききたいなと思ってて、今その中で結婚出来たら一番ええねんけど、どこの施設に行くでもなく地域の中で生活できたらなって思います。

2019年11月号 藤原 勝也 (39歳) 筋ジストロフィー (ディシェンヌ型)

NPO法人メインストリーム協会

～障害を受容したのは飛行機の中～



・一人暮らしを始めたのは、メインストリームに関わりだしてからですか？

・そうです。一人暮らしして2年後にアメリカへ海外旅行に行ったんですよ。

・どうして、アメリカを選んだんですか？

海外といったらアメリカやと思っていました。障害を受容したのはサンフランシスコに向かう飛行機の中でしたね。無理やと思ってたけど必要な介助者のサポートとか受けていければ、重い障害があっても自分のやりたいことをやれるんだとしみじみと感じました。それでこの生活をしてよかったと思いましたね。小さい頃から外国に行くのは夢やったから、だから諦めていたものが実現したから障害があるから僕はできないなと思っていたのに障害があっても必要な支援があればやりたいことがやれるんだ、それが大きかったですね。メインストリームと出会って色々やってきたことが障害を受け入れるきっかけになりました。

以上が「わたし流 障害受容」の抜粋版になります。お話を聞いていて思ったのは、やはり、自分だけで考えてはダメだということ。人に話をしたり、聞いてもらったりすることで、影響を受けたり自分の障害に向き合うことができる。人との繋がりがとても大事だということを取材を通して感じました。

※記事取材にご協力いただいた方々、また、今まで読んでいただいた方々ありがとうございました。「わたし流 障害受容」全文は、NPOちゅうぶのホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

「わたし流 障害受容」のコーナーは終了しますが、新しいコーナーも考えていきたいと思っています。みなさんから、こういうテーマで記事にしてほしいものがあれば、教えてください。よろしく願いいたします。

シリーズ いろいろなテーマの「なぜ」を解消！

～片岡 次雄さんに聞く インクルーシブ教育は、なぜ必要か～

このコーナーでは教育、施設、交通など各分野に詳しい人にインタビューをしていき、当時の障害者や制度の状況、その制度はどう変わってきたのか？今、取り組んでいること、これからの課題はなにか、なぜインクルーシブ教育が必要なのかを語ってもらおうというコーナーです。今回は教育のテーマ3回目です。インタビューをお願いしたのは、元は桜宮高校の社会科教師であり、定年退職後に障害児の教育問題に携わっておられる片岡次雄さんです。

片岡 次雄さんプロフィール



1946年12月11日生まれ

兵庫県明石市生まれ

神戸大学を8年かけて卒業、大阪市立桜宮高校社会科教師となる。授業開始前(課外)に登校し、授業開始後まもなく下校する交流生に、

ボランティアとして対応

交流開始後10年ほどで桜宮高校から大阪市立扇町高校に転勤。

2005年3月 大阪市立生野工業高校を60歳で退職。

※20年以上運動から離れていたのに、障大連の集会にせっせと参加。

いつもかぶりつきで参加しているのに目をつけられて、「楠さん(障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議前議長)アテンダント」の声がかかる。

そのまま障大連に居座って現在は運営委員。

片岡さんが関わってきた教育関係などの動き

1974年 <「障害児」の生活と教育を保障しよう市民の会>(しょう会)結成

知的障害児・者の親たちを中心とする会。

大阪府で、保育所入所闘争・高校入学運動・生活の場(作業所)作りが盛んになる。

1976年 <全国障害者解放運動連絡会議>(全障連)設立大会

1980年 <国際障害者年を機に「障害者」の自立と完全参加を求める大阪連絡会議>結成

1982年 <「旭区「障害」児の公立高校入学を実現する会>が「大阪市立桜宮高校へ優先入学させてください」要望書提出

1983年 受験して不合格の女子が「交流生」として桜宮高校に通ってくる。

準高生：不合格だが「高校通学」を許可された、高校生に準ずる生徒。

交流生：放課後などの「交流」が許可された生徒。

～いろんなところで活動しています～

山下：教育をテーマに取り上げてきていますが、今回は、片岡次雄さんにお話をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

片岡：よろしくお願いします。

鶴羽：片岡さんは、どんな活動をされているんですか？

片岡：いろんな会議や学習会に参加しています。高校問題を考える大阪連絡会、吹田市の障害者の権利保障をすすめる会、豊中市の「障害児・者」の生活を考える会、知的障害者を普通高校へ北河内連絡会などは月1回の例会を開いており、ほとんど全て参加しています。それから2か月に1回開かれる障大連の教育部会にも参加しています。大きな行事としては、それぞれ年3回開いている南大阪学習会と北摂学習会、年2回の北河内学習会があります。福山市の籠田裁判、吹田市の塩田裁判、豊中市のなかださいばんかわさきしこうすげさいばんきょうせい中田裁判、川崎市の光菅裁判、そして強制ふにんせしょうしょうがいしやかんふとうあつか不妊訴訟など、障害者に関する不当な扱いに対する裁判傍聴もあります。

山下：たくさん参加してはるんですね。それぞれの吹田とか豊中とか月1回例会をやっていることですが、どんなことをしていますか？

片岡：全部似ていて、でも違います。豊中や北河内の例会は小学校のから高校入学まで、在学している子どものことをしています。吹田市のすすめる会は吹田市の障害者にかかわる全ての問題を取り上げ、教育はその中での1つです。高校問題を考える会は高校受験と入学後の高校生活が中心です。豊中には国障年連絡会議があり、茨木にはしょう会があり、高槻には高障連があつて、それぞれ独自に対市交渉をしています。

残念ながら教育は交渉テーマに入らないこともあります。1981年の国際障害者年(国障年)とそれに続く「国連・障害者のじゅうねんときこくさいしょうがいしやねんき十年」の時に、「国際障害者年を機にしょうがいしやだんたい障害者の・・・」という団体ができました。今、国障年を名乗っている団体があるのは豊中だけでしょう。

山下：具体的に問題になっていることは、どんなことですか？

片岡：「共に学び、共に生きる教育」というスローガンは、大阪中のどの教育委員会も否定しないので、他の都道府県に比べるとまだやりやすい面があります。でも、全ての学校生活をみんなと一緒に過ごすという原学級保障は、豊中市以外は絶滅危惧種か文化遺産入りかという状況になってます。他府県では、自力でバスに乗れないからと、泣きわめく車いすの小学生を置き去りにして遠足に出発していったことなど、ひどい例があります。

鶴羽：まだまだ、理解されないことが多くあるんですね。

片岡：この子は夏場の水分補給も学校から拒否されました。大阪では、寝屋川市の重度の障害を持つ女の子が小学校へ行くことができないという問題があったけれど、一緒に教育委員会に行つて交渉したら2年生から小学校に行けるようになりました。2年生から行けるのなら、1年生から行かせてほしかった。

山下：障害の表記は、僕は害をひらがなにしたからといって障害が治るわけではないから、害でもいいと思ってるんですけど。片岡さんはどんな風に感じますか？

片岡：例えば北摂「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会は、漢字の障害に「」を

つけています。障害をどう表記するか、40
ねんまえ いろいろ しょうがい
年前に色々あって、障害に「」をつけるこ
とで落ち着きました。今、行政は障がい
と書き、教員組合はしょうがいと書いてま
す。イメージの問題かと思うけど、害も碍
もどっちも邪魔な存在、差し障りのある
邪魔な存在という意味がある。ひらがなに
すると雰囲気的には柔らかくなるわね。で
も、基本は障害に「」をつける派。最近
は「」をつけずに障害と書くことが多い。



い け だ し がくしゅうかい
池田市での学習会

～支援員も介助員も足りない状況～

つるは しょうがい
鶴羽：ありがとうございます。高校のことについ
て質問させてください。高校に障害者が入
れるようになったのはどれぐらい前から
ですか？

かたおか いま ねんまえ ねんかんこうこう う つづ こ
片岡：今から20年前に10年間高校を受け続けた子
がおったんです。枚方の子で、すぐ近くの
な おこうこう しじょうなわでこうこうていじせい
長尾高校を受けました。四条畷高校定時制
も受けましたが定員割れでも落とされま
した。2年目の長尾高校受験では、受験し
た人数と募集定員とが同数やったんやけ
ど、この子だけ落とされました。一人だけ
な おこうこう お よくよく とし ももだに
長尾高校を落とされた翌々年に桃谷
こうこうていじせい う まちが てん こ
高校定時制を受けた、間違いなく0点の子

ていいん わ ごうかく あと
が定員割れで合格しました。ここからは、
ていいん わ ふごうかく
定員が割れたときの不合格はなくなっ
てます。だから、10年間高校を受け続けるこ
とになった子は、定員割れで不合格にされ
た最後の子です。

やました ねんまえ で き こと にゆうがく
山下：それが20年前の出来事ですね。入学し
た後の支援はどんなことをされてたんで
すか？

かたおか たいしよく うんどう ほじ ねん まえ
片岡：退職して運動を始めた10年ぐらい前は、
せいせき かた こうこうまわ いろいろ
成績のつけ方について高校周りを色々し
ました。成績については数年で高校周りを
する必要がなくなった。みんなの学校の
きむらこうちよう い がっこう
木村校長が言っていたことなんやけども
100メートル泳げる子がさぼって80メート
ルしか泳がれへんかったらアカンけど、1
メートルしか泳がれへん子が10メートル
泳げるようになったら、これは褒めたらな
アカンと。点数取れへん子は学校が好きで
やす がっこう かよ てんすう ぜったいてき
休まん学校に通っている。点数は絶対的
と こうこうせいかつ
に取れないけれど、しっかりと高校生活を
おく ひょうか
送っている。こういうことを評価したら、
てんすう と しんきゅう そつぎょう
点数が取れなくても進級でき卒業できる
ひょうかてん だ
評価点を出すことができる。こういうこと
を続けていくと学校も先生も変わる。
やました たと ことば はなし こ たい
山下：例えば、言葉で話をしない子に対して、ど
うやって本人の高校に入りたいという
い し かくにん
意思確認をするんですか？

かたおか おや けんがく いっしょ
片岡：そこはやっぱり親やな。見学などで一緒に
がっこう まわ しえん がっこう きょ ひ はんのう しめ
学校を回ると、支援学校は拒否反応を示し、
こうこう たいど
高校はイイとか、まあまあなど、態度や
ふんいき じぶん き も しめ
雰囲気で自分の気持ちを示す。こういうこ
とを感じ取れない中学校の先生が多いの
が・・・。

やました がっこうがわ おや むり こ こうこうい
山下：学校側が、親が無理やり子どもに高校行き
たいと言わせてるんちゃうかということ

を言ったりしますか？

片岡：そういうことはやっぱりあるよ。先生はもちろんだけど、親同士でもそういうことはあるよね。親の見栄で高校を受けさせていると言われることはあちこちであります。小学校で普通学級で授業を受けることを要求すると、支援学級を差別していると言われたり。こういうことは結構あるんです。

山下：そうなんです。大阪府は支援員と介助員は今もいてるんですか？

片岡：大阪府言うたって府立高校だけで、学習支援員と身体介助員に分かれていて、ややこしいのです。大阪市も支援員と介助員とサポーターと3つあったんです。支援員は普通学級の子の支援で、介助員は支援学級の子の支援なんです。でも、人手が足りへんから1人で両方やることもあるんです。この時間は支援員だから教室だ、次の時間は介助員だから支援教室だ、とややこしいのです。市町村によって呼び方が変わったりするので一層ややこしくなります。大阪府は「ボランティア支援員」で、交通費なし最賃違反の謝礼が出ます。大阪府は最賃の少しだけ上の時間給と上限480円の交通費。大阪市のサポーターは区長裁量で発達障害以外の条件は何もなく(子どもは誰でも発達障害と規定できるので)使い勝手がいい。ややこしい大阪市の制度は来年度からサポーターという名前に一本化されるのでややこしさはましになりそうです。

山下：今でも足らない状況ですか？

片岡：なんとかやりくりしている状況だと思います。

山下：クラブ活動は介助員さんとかは使えるんですか？

片岡：クラブは放課後にするから授業時間中ではないので使えません。サポーターは使えましたが新しくなるサポーターが放課後使えるかどうかは分かりません。

～支援学級がないから障害児がいない～

山下：次の質問ですが、打ち合わせの時に、高校

は障害児がいないことになっているということをお聞きしましたが、ということは、全員、健常児として見られているということですよ。

片岡：そうですね。

山下：ということは、見方を変えれば明らかに障害児とわかるような例えば車椅子乗っている人とか視覚に障害がある人とかは、入学出来なかったことですよ？

片岡：高校は支援学級がないから障害者がおらんことになっています。ただ、公立高校は点数をとれば入試で落とすことはないから、点数が取れる車椅子の子やある程度点数の取れる知的障害の子は入試に合格して入学している。非常に少ないけれど、ストレッチャー生活の子が実力で高校に合格している例もあります。

鶴羽：だんだん、障害者が高校に入れるようになってきているんですね。

片岡：それから、尼崎市立高校を受けた筋ジストロフィーの子が不合格にされたケースがあって、明らかに合格点を取ってたのにね。裁判に訴えて勝って、1年後の入学ということになったけれど、関学高校に行きました。この裁判で、点数を取った子はどんな障害があっても落としてはいけないとい

うことが全国に広まりました。今は、点数
開示ができることもあって、点数が取れる
子については公立高校で落とされること
はないです。障害児を一括りにして、この
子はこんなやとしてしまえば、点数をと
っても不合格だとなってしまう。点数取れ
ない子も高校へ行きたいと思うのは当た
り前なのに、定員割れでしか合格できひん
のはおかしいやん。このへんはまだ十分な
運動が出来てないけどね。

やました 山下：僕は25年くらい前に中学卒業して、行け
る高校とか提示すらしてもらえなかった
んです。今は提示してもらえるんですか？

かたおか 片岡：学校や先生によるな。そこがようわからん
ねんなあ。少なくとも障害児についてのノ
ウハウの積み重ねは中学にないね。豊中市
は横の繋がりがあってノウハウはあるけ
どね。例えば、車椅子の子がおってその
車椅子の子が高校行きたい。点数も取れる。
どこやったら行けるか。ゼロからの手探り
ちゃうかな。反対に、一人一人の子とかじ
ゃなくて障害ということを一括りにして
しまっってイメージを持たへん場合は、「あ
んたなんか高校に行けるはずがないでし
よ」となる。本当は、大阪はそのへんとっ
くに脱却してるはずなんやけどね。

やました 山下：僕は子どもの頃は、入院生活を繰り返して
いたこともあり、勉強についていけず点数
の取れない身体障害者だったと思うんで
すけど、そういう人たちも今は、高校へ行
くことが出来るんですか？

かたおか 片岡：40人50人障害者手帳を持っている人が通
う高校もあります。高校によっては、500点
満点中100点取れたら余裕で入れる高校も
あります。それぐらい取れる知的障 害の子

はおるから、こういう子が受験先を選ぶの
は、けっこう楽だと思います。現実には、点数
の取れない身体障害者と点数の取れない
知的障害者はいっしょくたにされている
なあ。「高校なんか行けるはずがない」と思
い込んでいる中学の先生は多いよ。



～交流生との関わり～

つるは 鶴羽：かたおかさんが関わっていた準校生や交流生

の話を聞きしたいです。

かたおか 片岡：準校生（不合格だが「高校通学」を許可さ
れた、高校生に準ずる生徒）は授業やク
ラブを一緒に過ごすという、高校生活を送っ
ています。修学旅行に行く事ができる高校
もありました。桜 宮 高校の交流生

（放課後などの「交流」が許可された

生徒。）は、1時間目が始まるまでと放課後
に登校することが認められていました。僕
は、交流生の対応を、ボランティアとして
やっていました。1時間目の授業が全部空
いているわけではないので、教師3、4人で
対応していました。

つるは 鶴羽：交流生は、1時間目が始まったら帰るんで
すよね。帰った後は、どこで過ごしていた
んですか？

かたおか と う じ お や ちゅうがく そつぎょう
片岡：当時の親たちは(中学を)卒業したらどう
するんやと考 えて、生活の場(作業所)を作
る運動をやっていました。あちこちで作ら
れて、大阪市旭区は障害者解放をすすめる
いえ つく と う じ せいど
家を作りました。当時は制度がないので
む に ん か さぎょうじょ い すく
無認可作業所と言われていましたが、少な
い助成金(じょせいきん)が自治体から出ていたので、僕は
ミニ授産と呼んでたんやけど。交流生は
せいかつ ば かいほう いえ い ひる か
生活の場(解放の家)に居て、お昼に買い
物の い か ものじつしゅう しょくじ つく
物に行つて(買い物実習)食事を作つて
ちようりじつしゅう さいご つか かね けいさん
(調理実習)最後に使つたお金を計算した
けいさんれんしゅう
り(計算練習)、そういうことをやってまし
しょうがくせい で い ほう か ご
た。小学生も出入りしてるから、放課後か
らに賑やかになってました。

やました しょうがい かた こ
山下：いろんな障害の方が来られてたんですか？
かたおか ちてきしょうがいしゃ ひと しんたい
片岡：ほとんど知的障害者(てきしょうがいしや)の人で、たまに身体
しょうがいしや ひと き じょうひとま
障害者(しょうがいしや)の人も来ていました。8 畳一間ぐら
いのバリアフルな所でした。交流生より
としうえ こ ひとり こ かいほう いえ
年上(としうえ)の子(こ)が一人いて、この子は解放の家で
さぎょう
ずっと作業(さぎょう)をしたりとかしてました。この
ごろ せいかつ ば おお しごと
頃(ごろ)あちこちの生活の場(せいかつ)で多(お)かった「仕事」
はいひんかいしゅう お
は、廃品回収(はいひんかいしゅう)と、さおり織り(お)です。



ねん がつ おおさかしがくしゅうかい
2010年8月の大阪市学習会

あんしん す しゃかい
～みんなが安心して過ごせる社会を！～
やました ちてきしょうがい にゅうがく りゅうねん
山下：知的障害(てきしょうがい)があつて入学(にゅうがく)してきて、留年(りゅうねん)は
ないんですか？それとか、健常児(けんじょうじ)の親(おや)から、
ちてきしょうがい こ てんすう い
知的障害(てきしょうがい)のある子(こ)より点数(てんすう)良いのに、どう
して、うちの子(こ)は留年(りゅうねん)させられなアカン
と。
かたおか ちてきしょうがい こ りゅうねん
片岡：知的障害(てきしょうがい)のある子(こ)の留年(りゅうねん)はないです。た
だ、サボりまくつて 20 点(てん)の健常児(けんじょうじ)と、親(おや)も
せんせい ひつし てん ちてき
先生(せんせい)も必死(ひつし)になつて 20 点(てん)をとらせた知的
しょうがい こ むずか
障害(しょうがい)の子(こ)と、これをどうするかは難しい。
なに ひょうか きょういく しせい
何(なに)をどう評価(ひょうか)するかという教育(きょういく)の姿勢(しせい)が
と こうこう
問(と)われるので、高校(こうこう)がしっかりしていると、
てん けんじょうじ らくだい てん ちてきしょうがいじ
20 点(てん)の健常児(けんじょうじ)が落第(らくだい)して 20 点(てん)の知的障害児(てきしょうがいじ)
しんきゅう もんだい
が進級(しんきゅう)しても問題(もんだい)にならない。
しゅつせきてん てんまんてん ていしゅつてん
出席(しゅつせき)点を 30 点満点(てんまんてん)、テストや提出(ていしゅつ)点を 70
てんまんてん てん てんいじょう
点満点(てんまんてん)にして、テストが 0 点(てん)でも 30 点(てん)以上
と し く こうこう
取(と)れる仕組み(し)にしている高校(こうこう)もある。
やました さいご しつもん おも
山下：最後に質問(しつもん)させていただきたいと思います。
きょういくかんけい かか かたおか
教育関係(きょういくかんけい)に關(か)わつてきて、片岡(かたおか)さんはイン
クルーシブ教育(きょういく)についてどう考(かんが)えます
か？
かたおか しょうがい こ こ いっしょ そだ
片岡(かたおか)：障害(しょうがい)のある子(こ)もない子(こ)も一緒に育(そだ)つていく
す ば きょういく じつげん
と、素晴らしい教育(きょういく)を実現(じつげん)することができ
るんちゃうかな。点数(てんすう)が取(と)れる子(こ)だけ評(ひょう)価(か)
したら、そんなもん差別(さべつ)を生(う)み出(だ)すだけや
から。みんなと一緒に(いっしょ)ごちやごちやとやっ
ていくことで、健常児(けんじょうじ)も障害児(しょうがいじ)も両方(りょうほう)が育(そだ)
がっこう さがみほらじけん うえ
つ。こんな学校(がっこう)やつたら、相模原事件(さがみほらじけん)の植(う)え
まつさとし にんげん う
松聖(まつさとし)のような人間(にんげん)は生まれへん。ホンマの
きょういく じっせん がっこう ふ
インクルーシブ教育(きょういく)を実践(じっせん)する学校(がっこう)が増(ふ)
えれば増(ふ)えるほど、みんなが安心(あんしん)して過(す)
しゃかい おも
せる社会(しゃかい)になつていくと思います。
やました つるは
山下(やました)：鶴羽(つるは)：ありがとうございました。
かたおか
片岡(かたおか)：ありがとうございました。

おすすめのお店紹介します！

いんしよくてんへん
飲食店編

ちょう さ しゃ しゅうどうくるま めい か ん いでんどうくるま めい
調 査 者 : 手動車いすユーザー1名 簡易電動車いすユーザー1名
でんどうくるま めい けんじょうしゃ めい
電動車いすユーザー1名 健常者2名

ちょうさばしょ
調査場所 : Café Lychee (カフェライチ)
じゅう しょ おおさかふおおさかしひがしすみよくこまかわ
住 所 : 〒546-0043 大阪府大阪市東住吉区駒川3-27-19
でんわばんごう
電話番号 : 06-6629-2078
えいぎょうじかん
営業時間 : 9時～21時 (ラストオーダー20時30分)

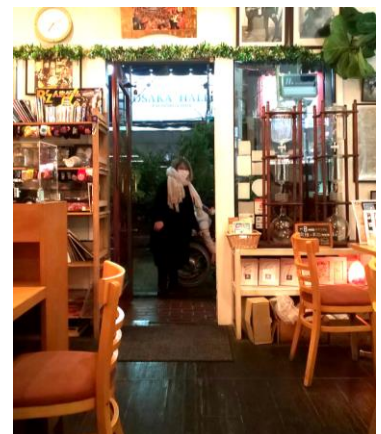


モーニング : 9時～11時 ランチ : 11時30分～16時 ディナー : 16時～
てい きゅう び ふていきゅう ざ せき すべ せき せき
定 休 日 : 不定休 座 席 : 全てテーブル席 28席
アクセス : おおさか たにまちせんこまかわなかのえき と ほ ぶん きんてつみなみおおさかせんはりなかのえき と ほ ぶん
大阪メトロ谷町線駒川中野駅徒歩1分 近鉄 南 大阪線針中野駅徒歩10分

い ぐち しゅうどうとびら てんいん しんせつ よやく で き べんり
入り口は手動扉。店員さんも、とても親切でした。予約も出来るので便利です！

い す うご くるま なんだい い すわ ま なか
椅子もテーブルも動かせるタイプなので車いす何台かで行っても座りやすいし、真ん中のテーブルだ
と向かい合わせで座れるので話しやすいです。なんと言っても店内は、Bz (ロックユニット) 一色で
した！ポスター等がたくさん飾られており、Bzファンには、たまらなくテンションが上がるお店だと思
います！

みなさんも、ぜひハンバーグとBzを満喫しに行ってみてください！



こまきゅうはし とお 駒九橋が通いやすくなりました！

だま か
～黙っていても変わらない～

ねん がつ ひがしすみよし く しょう しやき かんそうだんし えん じり つせいかつ ちか こまきゅうはし あたら
2018年3月に 東 住吉区 障がい者基幹相談支援センター（自立生活センター・ナビ） 近くの駒九橋が新
しく架け替えられました。架け替え工事をするには回覧板等で知っていましたが、出来上がってみる
と、車いすユーザーや高齢者等にとっては渡ることが困難な橋に変わってしまいました！工事が終わ
らないと気付かなかった大問題です。誰もが使いやすい橋のままだと思っていたのが、利用しにくい橋
に変わってしまったので近隣住民の方にも集まってもらい大阪市と協議をしました。

きんりん かた こうじまえ はし こうばい ゆる じてんしゃ わた で き いま お
近隣の方からは、工事前の橋は、勾配が緩やかだったので自転車で渡ることが出来ましたが、今は、押
して行かないと渡ることが難しくなっていました。と、お話してもらい、障害当事者からは、ナ
ビに來られる相談者の方や整形外科や公園があり、高齢者やベビーカーを押した方等がよく利用する橋
なので出来るだけ緩やかな橋にしてほしいと要望しました。話し合いの結果、勾配を緩やかにするのは
難しいので、代わりに手すりが設置されました。

ねん がつ さいど おおさかし はなし
そして、2019年11月 再度大阪市と 話
こまきゅうはし めん どうろ かいしゅう ゆる
・駒九橋に面している道路を改修してさらに緩やかにする
こんご ふる はし か か こうじ けんとうちゅう
・今後も古くなっていく橋は架け替え工事を検討中

ねん がつ
2019年12月
いちぶ ほうこう い き こうばい ゆる よ
一部の方向からのみですが、行き来がしやすくなりました。勾配が緩やかになったことは良かったし、
いったん こうじ お いちど こうじ めずら おも
一旦、工事が終わったのに、もう一度工事をしてくれるということは珍しいことだと思います。

まち しょうがいしゃ こうれいしゃなど ほか ひと おな わた はし はし み
街には障害者、高齢者等が他の人と同じように渡れない橋がたくさんあります。そんな橋を見つけたら、
ぎょうせい ようぼう おも かいしゅう むずか だま
行政に要望していきたくと思います。すぐに改修することは難しいかも知れませんが、黙っていて
なに か
何も変わりません。



て せっち こうばい ゆる
手すりも設置され、勾配も緩やかになりました。

なんこう りゅうへい しの 南光 龍平さんを偲んで

こつ ばたくへい
小坪琢平

なんこう ふ ほう き しゅうねん き かく かいじょう む でんしゃ なか
南光さんの訃報を聞いたのは、ちゅうぶ 35周 年企画の会 場に向かう電車の中でした。
ぜんじつ おこ しゅうねん き かく ぜんやさい しかいしゃ ぼく なんこう し あいさつ ねが
前日に行なった 35周 年企画の前夜祭があり、司会者だった僕は南光さんに締め挨拶をお願いしまし
た。その時は今までの「ちゅうぶの歴史」を既に亡くなられた 障害者の名前を挙げながら語られてい
ました。障害者が「当たり前」に地域で生きていく事ができる社会を作っていきたい！と力強く挨拶さ
れていました。

とつぜん で き ご と つうや こくべつしき お いま じつかん しん
あまりにも突然の出来事でお通夜と告別式が終わった今でも、実感がなく信じられません。
ぼく はい ねん なんこう たいしよく ねん
僕がちゅうぶに入ったのが 2000年。南光さんがナビを退職されたのが 2012年。
なんこう たいしよく ねんかん じりつせいかつ そうだんかつどう
南光さんがナビを退職されるまでの 12年間、ナビで自立生活プログラムや 相談活動、ナビゲーション
の取材、編 集、時には作業補助、たくさんの活動や業務と一緒に進めてきました。
しゅざい へんしゅう と き さぎょうほじょ かつどう ぎょうむ いっしょ すす
南光さんと日ごろから関わりが多かったこともあり、南光さんの言語障 害を正確に聞き取ることは早い
段階から出来ていたと自画自賛しております。南光さんもお前は「言語障害通訳者」やなあと笑いなが
らよく言い言語障 害がなかなか聞き取れない人がいた時は「通訳頼むわ」とよく言われたものです。笑

たいしよく せいかつかいご あか つうしょ しょうがい じゅうどか
ナビを退職され、ちゅうぶの生活介護（赤おに）に通所するようになってからは「障 害が重度化した
から、もうしんどい」という南光さんに対して小坪のほうから「もっと●●してください」とお願いす
ることのほうが多くなっていました。その度に「お前怖くなったな」と言いつつ、最後には「頑張っ
てるわ」という返事。この会話を何度も交わした気がします。
なんこう じりつせいかつ そうだんかつどう しょうがいうじしゃ こと
南光さんはピア・カウンセリングや自立生活プログラム、相談活動など障 害当事者だからこそできる事
に特に お力 を尽くされてきました。

これからもちゅうぶとしても、個人としても南光さんの遺志を受け継ぎ色んなことに取り組んでいき
たいと思います。

まだ時期は決まっておりますが、改 めて南光さんを偲ぶ会を開催したいと思います。
にっけい き し ぜ ひ さん かいただ さいわ
また日程が決まりましたらお知らせしますので是非ご参加 頂 けたら 幸いです。



ほど う しやどう だん さちようさ
歩道と車道の段差調査にも
と く
取り組んでいました。



めずら
ナビでは珍 しいスリーショット！

なんこう りゅうへい しの 南光 龍平さんを偲んで

やましただいすけ
山下大祐

なん こう がつ にち か み め い な が ね ん じ り つ せ い か つ か か なん こう りゅうへい
2019年2月11日（火）未明、長年、自立生活センター・ナビで関わっておられた南光 龍平さんが、
お亡くなりになりました。11日（火）は、NPOちゅうぶ35周年企画の当日でした。訃報をメールで
し と き きょう がつごう へんしゅう おも
知った時は「なにも、今日じゃなくてもええやん！3月号のナビゲーションの編集どうすんの？」と思
わ ず 声 に出してしまいました。

なん こう で あ ね ん ぼ く はい ぼ く お も なん こう さぎょうほじょ
南光さんとの出会いは、2002年僕が、ナビに入ってからです。僕は、主に南光さんの作業補助で、
パソコン筆記（ナビゲーションの編集）等をしていました。作業補助をしていたので、南光さんの言語
しょうがい き と お も
障害は、すぐに聞き取れたように思います。

なん こう お も で
南光さんとの思い出は、いくつかあります。

ぼ く ベ ん び は な なん こう かい ぎゅうにゅう ま
・僕が便秘だと話したら、南光さんからカスピ海ヨーグルトのタネをもらいました。牛乳に混ぜて
ひとばんお ぼ く ま ち が た すこ
一晚置かないといけないというものでしたが、僕は間違っ、タネだけを食べてしまいました。少しし
か くれ な かつ た の で 「なんこう ケチやなあ。」と思いながら食べました。翌日、話しをすると「あれは、
ぎゅうにゅう ま た お こ い お も で
牛乳に混ぜてから食べるもんや！」と怒られてしまいました。良い思い出です！

なん こう い え と い え い りぐち さ か あ ぼ く くるま てんとう
・南光さんの家に泊めてもらったこともあります。家の入口の坂を上がりきれずに僕が車いすから転倒
し た 時 は、なんこう だいじょうぶ い わら ひと
した時は、南光さんは「大丈夫や！」と言わんばかりに笑っているだけでした。ひどい人です！

なん こう しんたいしょうがい じよせい けつこん ぼ く ね ん けつこん しょうがいしやどうし
・南光さんは、身体障害の女性と結婚されていました。僕も、2012年に結婚しましたが、障害者同士の
けつこんせいかつ し じかん か じ やくわりぶんたんなど い み たく うかが
結婚生活を知る（ヘルパーの時間や家事の役割分担等）という意味でお宅に伺ったこともあります。

とき い え い りぐち てんとう わらい せいかつ う え さんこう
（この時は、家の入口では転倒しませんでした（笑））生活していく上で参考になりました。ありがと
うございました！

ほんとう きゅう なん こう な い ま し ん き も さいきん
本当に急なことだったので、南光さんが亡くなったことは、今でも信じられない気持ちです。最近、
いんしょう の こ なん こう こ と ば げんごしょうがい こ え き こころ き こ と ば
印象に残っている南光さんの言葉は「言語障害は声で聴くんやない。心で聞くんや。」という言葉。
なるほど！と改めて思いました。

なん こう ね ん な まつざき へんしゅうちょう ふたり と く
南光さんと2017年に亡くなった松崎さんもナビゲーション編集長でした。お二人の取り組んできたこ
と を 受け 継 い で、これからもナビゲーションを発行していきたいと思ひます。



みのお かんばい
箕面で乾杯！

なん こう みのお の つ
南光さんに箕面へビールを飲みに連れていってもらいまし
た。箕面へ行く前に、喜連瓜破（平野区）の「なか卯」へ行き
ました。箕面へ行く前からビールを飲んでた南光さん。
その「なか卯」が最近、リニューアルオープンし券売機やテ
ーブルの配置が変わり、車いすで入りやすくなりました。
てんない ようす じかい ほうこく
店内の様子などは、次回、報告します。

